

「福岡市体育施設入退場管理システム」提案競技 提案評価項目表

項目	評価の視点	配点	点数
システムの基本性能	「福岡市体育施設入退場管理システム」仕様書にある要件が満たす、またはそれらの要件に準じた内容になっているか。	10	
機能提案	はじめて利用する人やお年寄りから子供など、デジタルに不慣れな方でも、あらゆる利用者を対象に、わかりやすく施設情報案内がなされ、戸惑いなくスムーズに利用できる、ユーザーインターフェースとなっているか。	10	
	市民にとって利便性の高いものになっているか。利便性などを体感できるユーザーエクスペリエンスとなっているか。 (例) 1) 券売機の形状、ディスプレイ、反応速度等が配慮されている。 2) 利用者が確認したい施設情報を簡単に見ることができる、分かりやすい画面構成である。 3) 目の不自由な方、背が低い方、車椅子の方、外国人の方などにも配慮がされている。	10	
	職員の日報作成等に必要なデータが容易に抽出できる。 利用者の利用実態が的確に把握され、利用促進を図ることができるような情報を容易に出力することができる。	5	
	職員や施設管理者の負担を軽減できるよう、工夫がされているか。施設の追加、変更などを施設職員が簡単に行える仕組みとなっているか。	10	
管理者(施設職員)に対する配慮	操作エラー等による軽微なトラブル発生時に備え、問題対応のマニュアル化、簡易化を図るなどの工夫がなされ、現場職員により、容易に対応可能である。	5	
	メニュー構成、配置など機器の設定を現場の状況に応じて柔軟に変更できる。 機器の設定変更などの操作が簡単である。	5	
地域貢献	提案者の本社、本店、業務の拠点が福岡市内にあるか。	5	
実施体制・実績	提案内容を実現できる実施体制が確保されているか。 他自治体での公共施設予約システムの受託、運用実績はあるか。	5	
	システム操作研修や支援について、適正な期間や方法が示されているか。	5	
機器の品質	導入するベースの機器が既に流通しており、それらの機器が評価を得ている実績がある。 故障率、環境テスト結果などの実績データがある。	5	
	制度改正や、サービスデー対応等券売機の設定変更などに柔軟に対応できる能力を有する機器であるか。また、機能拡張を行う際には低コストで行える配慮がされている。	5	
運用・保守体制	提案内容を実施できる実施体制が確保されているか	5	
	長年にわたり、機器機能を維持するために、定期的な保守計画が策定された上で、実行される。故障件数削減の取り組みがなされている。	5	
	本業務終了後(R7.4月以降)の運用・保守費用の想定に妥当性、経済性はあるか。	5	
	適切な運用保守体制が提案されており、障がい時にも速やかに復旧対応できる体制となっているか。	5	
開発年度 価格点	10点×(1-提案価格/契約上限額)	10	
来年度以降価格点	10点×(最低提案価格/提案価格) ※最低提案価格とは全提案事業者が提示した最も低い金額とする。	10	

合計 120